

富士見町60年のあゆみ

昭和62年～平成4年(1987年～)

◎ 昭和62年(1987年)

- 10 米作4年連続豊作
- 10・28 公民館図書館オープン
- 12・18 富士見パノラマスキー場オープン

◎ 昭和63年(1988年)

- 4・27 富士見グリーンカルチャーセンター完成
- 7・15 諏訪南IC・国道間の県道弘沢富士見線
神戸バイパス竣工
- 11・1 信濃境駅開駅60周年
- 11・28 役場新庁舎完成

◎ 平成元年(1989年)

- 4・4 町の人口15,000人達成
- 8・22 富士見高原中学女子バレー
全日本中学校バレーボール選手権大会に出場
- 8・29 三井春治町長5期当選就任
- 10・31 ふるさと創生事業 創造の森建設

◎ 平成2年(1990年)

- 3・30 富士見町保健センター完成
- 7・1 机地籍矢の沢川でナウマン象の臼歯化石発見
- 7・23 ローカルブランド
～28 「風立ちぬトマトジュース」誕生
- 10・2 富士見に温泉湧出(富士見温泉:水神の湯)

◎ 平成3年(1991年)

- 1・20 人材育成海外派遣事業で中学生15人を
～2・10 ニュージーランドに派遣
- 3・1 そば処おこと亭オープン
- 7・29 テクノ街道(1級町道富原線)全線開通

◎ 平成4年(1992年)

- 8・2 消防第6分団県ポンプ操法大会
自動車ポンプの部優勝
- 12・18 富士見パノラマスキー場増設拡張工事
竣工・オープン



▲パノラマスキー場
オープン



▲発見されたナウマンゾウの
化石



▲ニュージーランド派遣
第1号



▲テクノ街道開通
(安全祈願)

姉妹町 西伊豆だより

秋の味覚「サンマ」。

皆さんは、もう食べましたか？

サンマは東北地方の港に水揚げされ、9月下旬頃から食卓に上りますが、西伊豆町からはサンマ漁に出かけています。

現在、町に残っているサンマ船は、静岡県内で1隻しかない大型のサンマ船で、今年は8月16日に出港し、北海道沖から漁を始めました。サンマを追って、少しずつ南下しながら、11月いっぱいまで漁を続ける予定です。その間、漁師の皆さんは自宅に戻ることはありません。

8月の出港の際には、港に家族や友人、漁協関係者など100人以上が見送りしばしの別れを惜しましました。



11月下旬に
船が港に帰っ

た時は、家族が戻ったうれしさもありますが、「おかず分け」としてサンマが乗組員などに配られ、さらに親類や近所などにもおすそ分けされるため、夕方には地区内のほとんどの家からサンマを焼く煙が立ち上ります。

次回、サンマを食べる時には、そんな漁師の姿を思い浮かべてみてください。

秋の味覚 ～西伊豆からサンマ漁



▲大勢の人たちに見送られ出港しました